

■大学院 文学研究科 地域社会システム専攻

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

【修士課程】

文学研究科地域社会システム専攻修士課程では、愛知大学大学院学則及び「履修要項」の定めにより、基本的には2年以上在学し、32単位修得することが必要です。この内、地域システム研究方法論は必修科目4単位が必要であり、その他の選択科目は院生の履修目的と計画により選択履修します。本専攻では専修科目と指導教授制をとっており、演習のある専修科目のうち授業科目（講義4単位、演習8単位）を選定し専修科目とし、専修科目を担当する教授を「指導教授」として、授業科目の選択や研究一般についての指導を受けるとともに、修士論文の作成について直接的な指導を受けます。

修士論文の内容は、以下の能力を修得していることを口述試験によって審査し、修士の学位を授与します。

- （1）地域社会の構造と変動過程に関する広い視野と見識を持ち、多角的な視点から地域社会の諸問題を考察できる能力。
- （2）地域社会の構造と変動過程に関する広い視野と見識を活用し、地域社会に貢献できる能力。
- （3）地域社会の構造と変動過程に関する広い視野と見識を生かして、高度な専門性を必要とする職業に就ける能力。

【博士後期課程】

文学研究科地域社会システム専攻博士後期課程では、愛知大学大学院学則及び履修規程の定めにより、専修科目4単位以上と指導教授の研究演習4単位を修得しなければなりません。

なお、博士論文の審査については別に審査基準が設けられていますが、課程博士は博士課程入学後6年以内であれば取得できます。

博士論文の内容は、以下の能力を修得していることを口述試験によって審査し、博士の学位を授与します。

- （1）地域社会の多様な分野を複合的に考察し、独自の視点から研究できる能力。
- （2）地域社会の諸問題に精通し、高度な専門性と客観的な視点から比較検討できる能力。
- （3）地域社会の諸問題に精通し、高度な専門性を必要とする職業に就ける能力。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

【修士課程】

文学研究科地域社会システム専攻修士課程では、社会学及び地理学を主たる構成要素として地域社会について多面的、実証的に分析し、地域社会の具体的諸課題の解決と地域社会のあり方をシステムとして複合的、総合的に構想し、実践的に取り組むことのできる専門的な能力を養成することを目的として教育課程を編成しています。科目編成においては地域社会をシステムとして体系的総合的に認識するための地域社会システム論を基幹科目として必修科目とし、その他に地域社会を構成する分野や要素を考慮した多様な科目を選択科目として開設しています。

教育方法、指導方法については、院生の研究課題にもとづいて選択する専修科目とその担当教員による演習形式の個別指導を中心に行い、専門的な研究方法の修得と研究能力の養成により、最終的には修士論文として成果を作成します。

【博士後期課程】

文学研究科地域社会システム専攻博士後期課程では、修士課程における高度な専門的能力を基礎として、さらに研究的、独創的な研究能力を育成するために、地域社会システムに関する特殊研究科目により個別テーマによる研究の指導を行います。

入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

【修士課程】

文学研究科地域社会システム専攻修士課程では、地域社会に関する多様な領域の個別研究の成果と、諸課題に関する学際的連携による研究をふまえて、地域社会の地理・環境、経済・政治活動、組織・集団関係、地域文化、住民の生活・活動などから構成される地域社会システムについて、その構造と変動過程の解明をめざして多面的な研究を行い、高度な専門職業人を養成することを目的とし、以下の人を入学者として受け入れます。

- （1）本研究科で学ぶために必要な学力を身につけている人。
- （2）地域社会への強い関心を持ち、地域社会の構造と変動過程について、主体的に研究する意欲がある人。
- （3）地域社会に関する多様な分野の専門知識を修得して、地域社会への貢献を目指す人。

【博士後期課程】

文学研究科地域社会システム専攻博士後期課程では、地域政策、地域計画、地域活動などの諸要素をも組み込んだ地域社会の再構築を構想する研究、教育を組織的、実践的に行うことによって新たな地域社会システムのあり方を探究し、研究者及び地域計画に関わる高度な専門的職業人を養成することを目的とし、以下の人を入学者として受け入れます。

- （1）地域社会の多様な分野に関する幅広い知識を修得している人。

愛知大学 3つのポリシー（2020年度向け）

- | |
|---|
| <p>(2) 地域社会の諸問題について、客観的な分析にもとづいた論理思考により、独自の見解を体系化できる能力がある人。</p> <p>(3) すでに修得した専門知識をより深めながら教育職や研究職に就く意志がある人。</p> |
|---|